

単元名『ごんぎつね』

平成 30 年 8 月 27 日(月) 第 2 校時
 授業会場 4 年西組教室
 4 年西組 男子 19 名 女子 16 名 計 35 名
 指導教官
 授業者

1 本時の位置 (全 14 時間扱い中の第 3 時)

前時: 初発の感想を発表しあい、学習の見通しを持つ活動をした。
 次時: 2 段落について学習する。

2 本時の主眼

『ごんぎつね』を通読し、ごんと兵十という登場人物に関心を持ちより深く理解したいと願う子どもたちが、ごんの人物像を考える場面で、1 段落の文章中からごんの特徴を読み取ったり、ごんの状況から気持ちを想像したりして、クラスで考えを共有したりすることを通して、ごんの人物像に注目しごんの気持ちをより深く理解することができる。

3 指導上の留意点

・1 段落の時点では、児童それぞれがごんに対して自由なイメージを持てるように、正解を求めに行くのではなく、たくさんの意見が出るように指導する。

4 本時の展開

階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導 入	1 1 段落を児童で丸読みをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・僕の順番回ってくるかな ・ちょっと緊張する ・ごんっていたずらっ子だな 	7	○1 段落の内容を思い出し学習に入っていくように、授業の始めに丸読みをする。
	2 様々なごんぎつねの表紙の絵を見てごんの印象に注目する	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなに種類があるんだ! ・このきつねはめっちゃ意地悪好きそう ・こっちは優しそうだよ ・こっちの絵の方が好きだよ 	5	○スライドを用いて視覚的に注目しやすいようにする。 ○こどもがごんの印象の違いに注目できるように声掛けをする。 「さっきの表紙のごんと比べてどうかな」
	3 前回の授業で書いた感想に触れる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ごんってどんなきつねかを考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・いたずら好きのきつねだと思った ・優しいきつねだと思った 	3	3 「感想にごんは○○なきつねって書いてる人が多かったんだけど、かいくんはなんて書いた?」
	4 ごんの人物像の手がかりを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・1 段落の文章を読めばいいと思う ・ごんがやったことに注目すればわかりそう ・本文を読んで状況を想像して、ごんの気持ちを考えてみると良いと思う 	3	○子どもたちの中から本文の文章中から考えるという意見しか出なかった場合は、行動や状況に注目するように伝える。 「どうすれば、ごんの人物像がわかるかな」
展 開	1 段落の文章を読んで、ごんの行動を読み取ったり、ごんの状況を想像して気持ちを考えたりするとよさそうだ。			
	5 ごんの人物像を考えノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・1 段落には色々な種類のいたずらが出てくるから、ごんはいたずらが好きなんだよ ・ひとりぼっちの小ぎつねって書いてあるから、ごんは寂しいと思う ・ごんは兵十のことをじっとのぞいてたから、兵十のことが気になっているきつね ・たくさんいたずらしてるから兵十の邪魔をしたいのかも 	12	○見返した時に根拠がわかるように、本文中から読み取れるごんの情報やごんのイメージを教科書のページ・行と一緒に記入するように伝える。 ○本文中に書いてあることのみを記入している場合は、そこから想像できるごんの人物像を考えるように促す。
	6 ごんの人物像を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・僕もそう思う ・俺もいたずら好き ・でもごんは本当は優しいと思う ・そんな考え方もあるんだね 	13	○他の人の意見を否定せず、たくさん意見が出るように指導する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">評価: ごんの人物像に注目しごんの気持ちを深く理解しようとしている。 本文を読み、考え、ノートに記入する様子から</div>
終 末	7 本時の学習を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・ごんのイメージがちょっと変わった ・うなぎを盗んだ理由も関係しているのかな 	2	○物語の最初の場面でのごんの印象は人によって異なっていて構わないことを伝える。

